

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

6月6日(第23週)に1件(O26)の報告があり、今年の累計は6件となりました(次頁参照)。

腸管出血性大腸菌は感染力が強く、人から人への二次感染に注意する必要があります。トイレの後にはしっかり手を洗いましょう。

2. 手足口病

定点当たり3.13人とやや増加しています。例年同時期と比べて多い状態が続いています。

3. 伝染性紅斑

定点当たり1.21人とやや増加しています。

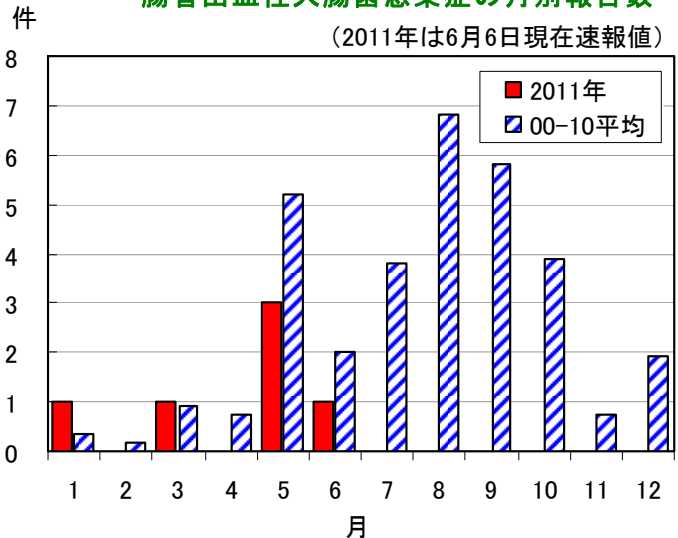
4. ヘルパンギーナ

定点当たり1.00人と増加しています。

手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱は、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。例年この時期から夏季に向けて増加しますので、今後の動向に注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数

(2011年は6月6日現在速報値)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点 当り	平 過 均 去 (注 5 年 間)	発 生 記 号	疾患名	報告数	定点 当り	平 過 均 去 (注 5 年 間)	発 生 記 号
インフルエンザ	-	-	0.23		ヘルパンギーナ	24	1.00	0.61	▲
咽頭結膜熱	5	0.21	0.47		流行性耳下腺炎	20	0.83	0.86	▲
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	22	0.92	2.63	▲	RSウイルス 感染症	-	-	0.01	
感染性胃腸炎	135	5.63	6.89	▲	急性出血性 結膜炎	-	-	0.05	
水痘	16	0.67	2.41	▲	流行性角結膜炎	6	0.75	1.00	
手足口病	75	3.13	0.84	▲	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	29	1.21	0.34	▲	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発しん	17	0.71	0.88		マイコプラズマ 肺炎	2	0.29	0.43	
百日咳	3	0.13	0.23		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	6	116	男性(20歳代)・2人、女性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、男性(60歳代)・1人
5	ウイルス性肝炎	1	6	男性(50歳代)・C型・推定感染地域: 国外
5	麻しん	1	12	男性(20歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	広島市	第18週	60	19	20	140	26	35	9	8	1	2	15	6	-	5	-	1	1	-
		第19週	31	11	47	132	37	57	13	13	4	2	16	4	-	13	-	1	3	-
		第20週	9	8	28	108	21	78	21	12	4	9	11	-	-	11	-	1	4	-
		第21週	4	7	39	107	28	58	24	18	-	15	12	2	-	14	-	-	1	-
		第22週	-	5	22	135	16	75	29	17	3	24	20	-	-	6	-	-	2	-
定点当り	広島市	第18週	1.67	0.83	0.87	6.09	1.13	1.52	0.39	0.35	0.04	0.09	0.65	0.26	-	0.63	-	0.14	0.14	-
		第19週	0.84	0.46	1.96	5.50	1.54	2.38	0.54	0.54	0.17	0.08	0.67	0.17	-	1.63	-	0.14	0.43	-
		第20週	0.24	0.33	1.17	4.50	0.88	3.25	0.88	0.50	0.17	0.38	0.46	-	-	1.38	-	0.14	0.57	-
		第21週	0.11	0.29	1.63	4.46	1.17	2.42	1.00	0.75	-	0.63	0.50	0.08	-	1.75	-	-	0.14	-
		第22週	-	0.21	0.92	5.63	0.67	3.13	1.21	0.71	0.13	1.00	0.83	-	-	0.75	-	-	0.29	-
	全国	第20週	1.62	0.48	2.36	6.22	1.56	0.65	0.92	0.63	0.03	0.19	0.91	0.11	0.01	0.60	0.02	0.03	0.40	0.02
		第21週	1.11	0.53	2.51	6.03	1.95	0.66	0.71	0.64	0.03	0.22	0.87	0.11	0.03	0.63	0.02	0.03	0.41	0.02

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	下気道炎(気管支炎)	0	男	2011/05/18	鼻汁 咽頭拭い液	百日咳菌
その他の疾患	発熱(40.0) 発疹 肝機能障害 黄疸 結膜炎 リンパ節腫脹 熱性痙攣	3	男	2011/04/19	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における腸管出血性大腸菌感染症の血清型別報告数 6月6日現在

年	O157	O26	O111	O121	O103	O145	O165	計
2000	39	1						40
2001	29	11						40
2002	5	9	3					17
2003	18	5	1					24
2004	33	14						47
2005	11	3	1					15
2006	23	2	4			1		30
2007	14	1	2	3			1	21
2008	27	8	3					38
2009	33	2		3				38
2010	26	10		7	3			46
2011	5	1						6
計	263	67	14	13	3	1	1	362

今年は6月6日までに6件報告されており、血清型別の内訳は、O157:5件、O26:1件となっています。

腸管出血性大腸菌感染症は、症状のないものから、腹痛や下痢を伴うもの、血便を伴うもの、さらには重症化して溶血性尿毒症症候群(Hemolytic Uremic Syndrome, HUS)を発症するものなど症状は様々ですが、子どもと高齢者は重症化しやすいので特に注意が必要です。

例年、気温が高い5月から10月ごろにかけて多発する傾向にあるので、注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2011年第22週(5月30日～6月5日)